

## ワンポイントアドバイス：「一瞬の対応力」

教員は、1年目でも児童生徒にとっては「先生」であり、1日目から様々な対応が求められます。児童生徒は、教員の言動を常に見ており、「見られている」という意識をもって、日々の勤務を行わなくてはなりません。その中では「一瞬の対応力」とも言える臨機応変な対応を求められることがあります。

### 1 授業における対応

授業は、教員が指導計画に基づいて行います。そして、指導計画を作成するにあたっては、児童生徒の発言や反応なども予想するものです。しかし、場合によっては、予想しない発言や反応が出てくることもあります。その場合、教員はどのように対応すればよいのでしょうか。

授業中の児童生徒の発言や反応は、教員としてまず「受け止める」というスタンスをもつことが大切です。どんな発言や反応であっても、それを無視することはしてはいけません。教員は、児童生徒の発言や反応の内容をまず理解する必要があります。児童生徒が、教員の発問や授業をわかっているのか、間違った理解をしているのか、教員も考えつかなかった発想をしているのか、授業の流れを妨げようとしているのか等、様々考えられます。意図的に授業の流れを妨げようとしているのであれば、生活指導が必要となりますので、学年主任などと相談をしながら指導をしていくことが大切です。また、授業に参加している中での予想外の発言や反応に対しては、まずはしっかりと受け止め、児童生徒に返していくことが重要です。時にはそれを使って児童生徒に考えさせてみることもできるでしょう。すぐに答えが出せない場合は、一旦教員が預かり、次の時間までに答えを返してあげるようにすることもできます。教員として、児童生徒の豊かな成長を思い、よい授業を作っていくことをしっかりと意識していきましょう。

### 2 児童生徒指導、保護者への対応

児童生徒が何らかの問題行動を起こしたり、被害にあたりした場合、またはけがをした場合などには、速やかな対応が大切です。もし、そういう場面に自分が遭遇したら、どのように対応しますか。そのときどのような判断をし、どう対応していくか、まさに「一瞬の判断」をしなくてはならない場面になります。こういう場合、まずはその場の状況を的確につかみ、事実の確認、学年主任や生活指導主任、管理職への報告・連絡・相談、指導体制、指導の方向性、保護者等への連絡、関係児童・生徒の指導やケアなど、事態の收拾に向けてしっかりと道筋が必要になってきます。

次に、保護者への対応では、まず丁寧に話を聞くことが大切です。そして、話の内容について、自分の対応で解決ができるのか、学年主任や関係の主任、管理職との相談が必要な内容なのかを見極め、保護者に対する必要があります。特に、電話での相談の場合は、電話だけで済まさず保護者に来校していただくか、家庭訪問をするなど、直接顔を合わせるほうがよい場合もあります。

まずは、どのような場合でも、学年主任や関係の主任、管理職に報告し、きちんと指示を受けて、誠実に対応することが大切です。

